

編集後記

「大衆文化」第十一号です。

前号にひきつづき、井上良夫宛乱歩書簡を紹介しました。乱歩は戦後に多くの評論を書いて、海外ミステリを紹介していくことになりましたが、それがどのように準備されていたかが垣間見える資料ではないかと思えます。

二〇一四年は江戸川乱歩生誕百二十年です。早川書房「ミステリマガジン」では乱歩特集が生まれ、旧江戸川乱歩邸も紹介されました。また洋泉社より『江戸川乱歩の迷宮世界』が刊行されています。

他にも、大手のテレビ局や新聞から、各種の雑誌、高校の新聞部まで、江戸川乱歩邸は今年、いろいろな取材を受けることになりました。いくつかはみなさまの目に止まることもあるかと思えます。媒体ごとの切り口を比較してみるのもおもしろいかもかもしれません。

(落合)

大衆文化 第十一号

発行日 二〇一四年(平成二十六年)九月三十日

発行者 成田康昭

発行所 立教大学江戸川乱歩記念

大衆文化研究センター

印刷所 城島印刷株式会社

福岡市中央区白金二丁目九一六
電話 〇九二(五三二)七一〇二